

ダニによる感染症に注意しましょう！

ダニによる感染症とは・・・

マダニ類やツツガムシ類に咬まれることによって、いろいろな感染症にかかることがあります。その中で、主に次のものが知られています。

- ① **日本紅斑熱**：病原体は日本紅斑熱リケッチア、媒介ダニは**マダニ類**です。症状は、高熱と紅色で米粒大の発疹などです。主として西日本でみられます。
 - ② **重症熱性血小板減少症候群（SFTS）**：病原体はSFTSウイルス、媒介ダニは**マダニ類**です。症状は、発熱と食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛などの消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。
 - ③ **つつが虫病**：病原体はつつが虫病リケッチア、媒介ダニは**ツツガムシ類**です。症状は、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどです。北海道等の一部地域を除き全国的にみられます。
- ※全てのマダニ類やツツガムシ類が病原体をもっているわけではありません。病原体をもっているマダニ類やツツガムシ類に咬まれなければ感染症にかかることはありません。

ダニの種類「マダニ類」「ツツガムシ類」

マダニ類やツツガムシ類は、草むらや藪などに生息しているダニです。

「ダニ」といっても、食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなど家屋内に生息するダニとは種類が異なります。

マダニ類



フタトゲチマダニ 1.8~3.0mm
(出典元：岡山県環境保健センター)

ツツガムシ類



フトゲツツガムシ（幼虫） 0.5~0.8mm
(出典元：島根県感染症情報センター)

これらの感染症にかからないためには、ダニに咬まれないことが重要です。

ダニに咬まれないために

- ・草むらや藪などマダニが多く生息する場所では、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌の露出を少なくしましょう。
- ・服や靴の素材等は、白っぽい色で滑りやすい素材を選ぶと、ダニを発見しやすく、また付着しにくくなります。
- ・首にかけるタオルや脱いだ上着などは直接地面に置いたり木にかけたりせず、出来るだけバッグの中などにしまうようにしましょう。
- ・ダニをよせつけないためには、肌の露出部分や服にDEET（ディート）などの成分が含まれた虫除け剤の使用も有効です。

草むらや藪などで活動した後は

- ・服などにダニが付着している可能性があるため、車や自宅に入る前に服などをはたきましょう。
- ・帰宅後はすぐ入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ・ダニに咬まれても痛みや痒みはあまりなく、気づかないことが多いので、着替え時などに**体にダニが吸着していないかどうかを確認**してください。

もしダニに咬まれたら？

- ・放置すると数日間以上吸着して吸血し続けますので、見つけたら早めに取り除くことが肝心です。
- ・自分でとる場合には先の細いピンセットを用い、できるだけ皮膚に近い部位でダニをつまみ、つぶさないように注意して取り除きますが、とり損ねて一部が残ってしまうことがあるので、できるだけ病院（皮膚科）でとってもらってください。
- ・咬まれてから1～2週間程度は体調の変化に注意し、高熱・発疹・消化器症状などの症状が出た場合には病院などの医療機関を受診し、ダニに咬まれたことを教えてください。日本紅斑熱やつつが虫病は抗菌薬で治療が可能です。（症状がなければ受診する必要はありません。）

問い合わせ先

機関名	電話番号
東部福祉保健事務所	0857-22-5694
中部総合事務所福祉保健局	0858-23-3145
西部総合事務所福祉保健局	0859-31-9317
鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課	0857-26-7153

ホームページ

鳥取県のホームページでもマダニによる感染症についての情報を掲載しております。

鳥取県健康政策課：<http://www.pref.tottori.lg.jp/209597.htm>

鳥取県感染症情報センター：<http://www.pref.tottori.lg.jp/210212.htm>